

理科の目標

自然現象に対する興味・関心を高め、目的意識を持って観察・実験を行うことにより、問題解決の能力や科学的な見方、考え方を身に付けることです。

評価の観点

- 1 自然の事象に関心を持ち、授業に積極的に参加している。
- 2 課題にしっかり取り組み、科学的に考察を進めることができる。
- 3 観察や実験に意欲的に取り組み、方法を身に付け、結果を表現できる。
- 4 授業の内容を理解し、知識を身に付けている。
- 5 宿題やレポート等にしっかり取り組んでいる。

評価の方法

授業中の態度や参加のようす、発言・発表の様子や内容、観察・実験の技能、ノートやレポート・ワークなどの提出物、中間、期末テストや小テスト、授業道具の準備状況など総合的に評価します。

特色ある学習方法

- 実験・観察の重視
- 視聴覚教材の利用
- 実験プリントの活用
- 話し合い活動とグループ発表の充実
- 調べ学習（まとめや発表）

時間 1学期 週3時間
 2学期 週3時間
 3学期 週3時間

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	身近な生物を観察しよう 花のつくりとはたらき 植物の分類 動物の分類 身のまわりの物質とその性質	花の観察を行い、つくりの特徴を見いだす。 植物をいろいろな観点にもとづいて、いくつかのなかまに分類する。 動物をその特徴の違いによっていくつかの仲間に分類する。 金属や白い粉末の物質や気体の実験を通して物質の見方を学ぶ。
2 学 期	気体の性質 水溶液の性質 物質の姿と状態変化 光の世界 音の世界 力の世界	水溶液に物質がとけている状態や取り出す方法を説明できる。また、水溶液の性質の状態変化によって質量や体積はどうなるか、また融点や沸点について学ぶと共に粒子モデルを使った考え方を学ぶ。光や音、力の実験を行い、そこから光や音、力の特徴や規則性を理解する。 物体に力がはたらくとどうなるか、力の表し方を理解し表現できる。
3 学 期	火をふく大地 動き続ける大地 地層から読み取る大地の変化	火山活動や火山噴出物観察の記録や資料を活用してマグマの性質や成因と関連づけて考察する。 大地は長い時間と広い空間の中で様々な要因が関連しながら変化してきたことを認識し、自然に対する畏敬の念を感じさせたい。